

いたちかわらばん

通刊65

鮎川・狹川 / 河原番・瓦版 '14 春号



【版画 宗森英夫】

【本郷小学校裏の休憩所】

いたち川周辺の施設

いたち川は小さな川ですが、中流から下流は市街地を流れているため、橋が多く架かっています。中流の紅葉橋から最下流のいたち川橋までの約3kmの区間に23もの橋が架かっています。どの橋の上に立ってもすぐ上流（あるいは下流）の橋が見えます。

いたち川周辺で写真を撮ったり、絵を描いたりすると必ず橋が入ってきます。今まで発行した「いたちかわらばん」64号のうち25号の表紙絵が橋の絵になっています。

そこで、今号から、いたち川散策路にある休憩所に来る場所を取り上げてみたいと思います。

いたち川には明確な休憩所の施設は多くありませんが、様々な工夫で休み場所がつけられています。各水辺拠点には休憩ベンチが設けられていますが、それ以外の川辺の散策路は、花壇の縁が腰を下ろせるベンチ代わりの構造になっていたり、単調な散策路にならないよう起伏や階段を設けて一休みできるようになっています。川辺に降りられる階段も多く設け、昇降機能のほかに腰を掛けて川面の変化や鳥や魚等眺める憩いの場所を創出してあります。

みなさん、どのくらいお気づきでしょうか。一休みする時注意して見てください。

（コゲラ）

八軒谷戸水辺愛護会～取材記～

横浜で一番古いと云われる石橋のひとつが栄区にあります。いたち川小川アメニティにある「昇龍橋」です。白山神社の参道としてこのアーチ型の石橋が架けられたのは明治30年代頃とみられています。1923年（大正12年）9月の関東大地震のとき崖崩れがあり、当時の社殿は全壊しましたが「昇龍橋」は壊れずに残りました。

ここで、水辺愛護会活動をしているのは「八軒谷戸水辺愛護会」のみなさんです。いたち川の水辺愛護会インタビュー特集の皮切りに早速訪ね、会長の森雅弘さんと事務局の内田康正さんにお会いしていろいろお聞きました。八軒谷戸水辺愛護会は栄区の水辺愛護会の草創期の十数年前に、光明寺さんの「14日講中」の仲間14軒で発足し、現在11人の持回りで活動している団体です。それぞれ農業などの仕事がある中、地域の事案に加え、いたち川の清掃や除草を実施しているということです。畑で春のジャガイモが収穫出来る6月頃には近所の子どもたちを招待して楽しい野外バーベキューもしているそうです。

春は梅、桃、水仙、桜、菜の花、農作業の人影があり湧水でお茶を沸かし一服する様子が見られます。こんなに近くに風流桃源の環境があることはありがたいことです。いたち川の水を守り大事な農業をしている方々に感謝します。陽気の中、悠々と昇龍橋から横浜自然観察の森へ散策されてはいかが。

（うめおきな）



昇龍橋を上流から見る。

上郷上流水辺愛護会～取材記～

まずは、持参した数枚の「いたちかわらばん」を眺めながら昨年7月のイベント以来の旧懐を語る。（いたちかわらばん63号参照）かわらばんの表紙の絵が版画なのに感心したり、その作者（宗森）には竹の炭焼作業の指導を受けて顔見知りだったなどと話してくれた。また、鯉の特集号（いたちかわらばん62号）を見て、いたち川の魚たちが話題になり、夏場には生活排水の流入で水質が低下するのが心配だという愛護会らしい懸念の声が上がった。

上郷地区センター周辺にはサワガニがとても多かったのに最近ではうんとその姿が減っているとか。カニの話ならばばかりにザリガニの話になったり、ザリガニを捕食するカワセミの話になったり……。

「上郷上流水辺愛護会」は別の名を「上郷グリーンクラブ」といい、今年で3年目を迎える若いクラブである。現在、会員は17名で、男性8名、女性9名でよくバランスがとれている。

会員は近隣だけではなくて笠間地域から自転車やマイカーで通ってくる人が数人いて毎週水曜午後の2時間、上郷地区センターに集合、少しの時間打合せ後は直ぐに外での活動が始まる。終わりの30分間はミーティング、今日の結果や次回への宿題などが語り合われる。

活動内容としては、川の中の清掃、ゴミ拾い。川べりの除草や花・木の世話。地区センター南面の遮光ゴーヤネットの栽培～管理。借地での野菜栽培などである。活動拠点が上郷地区センターなのも羨ましい。会議室など確保しなくてもロビーにはテーブル・椅子があるので集まって直ぐに話ができる。聞けば、昨年に続き今年の夏もイベントを開催すべく計画しているというから楽しみだ。

今回のように OTASUKE 隊員と情報交換していることも大事な活動の一環ではないかと思いつつインタビューを終えた。

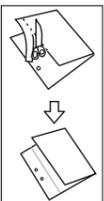
（ピンテール）

発行: 狹川 OTASUKE 隊 (いたちがわおたすけたい)

OTASUKE 隊事務局: 栄区役所区政推進課企画調整係 〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19
TEL 045-894-8161 FAX 045-895-2260
栄土木事務所下水道・公園係 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
(お便り・お問い合わせは こちらまで)

発行年月
2014年4月

通刊65



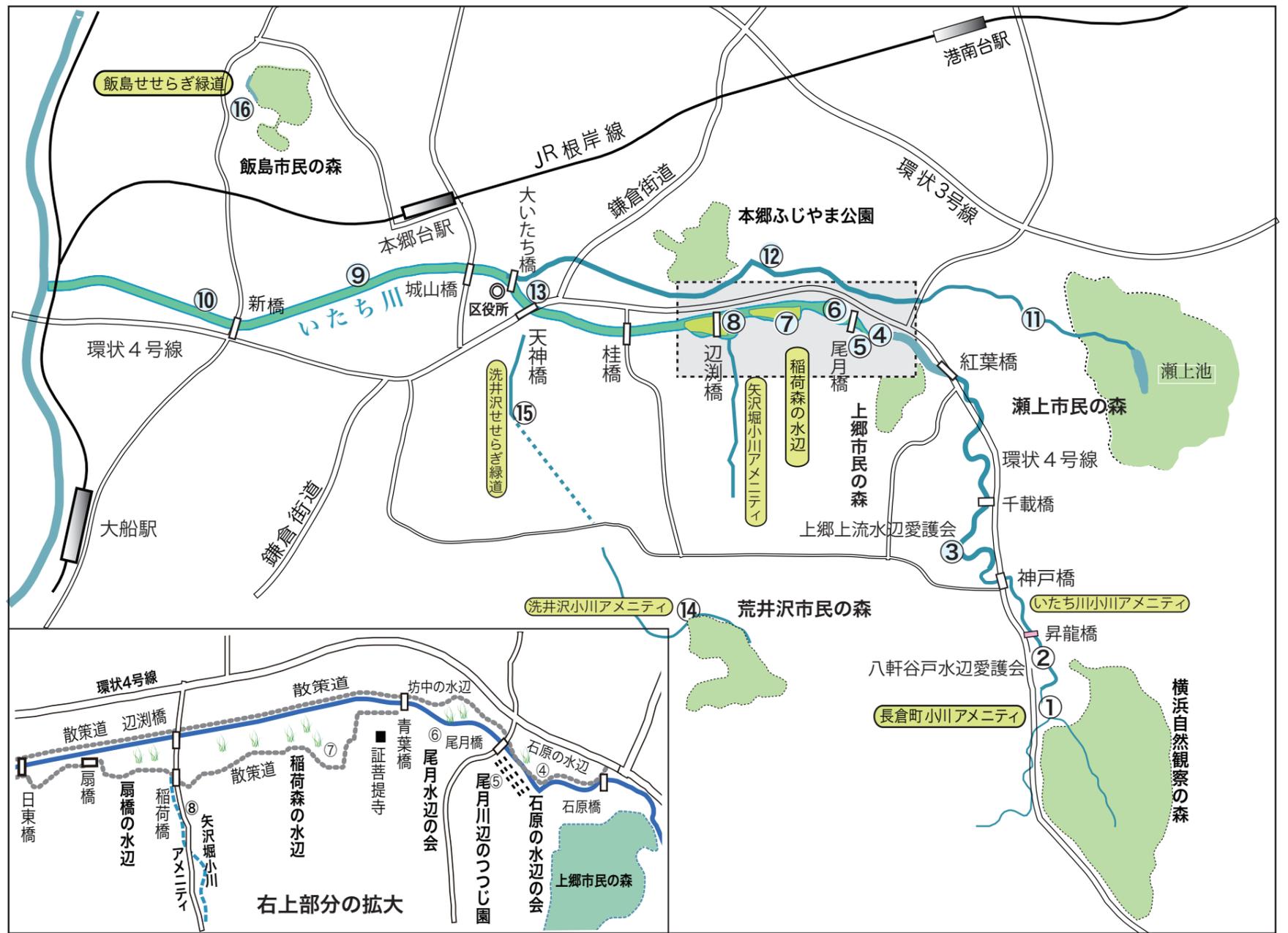
水辺愛護会特集

横浜市内には、多くの川が流れ、小川アメニティ・せせらぎ緑道など身近な水辺が多くあります。きれいな河川や水辺は、私たちの心に潤いと安らぎを与えてくれます。水辺愛護会は、そのような河川や水辺の施設を訪れる人たちが、快適に水辺と触れ合い、親しめるよう、定期的な清掃や除草作業を行い、良好な環境を保つための活動を行っている団体です。

水辺愛護会は、河川や水辺施設の地域住民や有志の方々によって構成され、現在は市内で91、栄区内では16の団体（平成25年12月末現在）が活動しています。また、河川や水辺施設を活用して、自主的な活動やイベントを実施していただくことも活動の一つであり、栄区でも毎年、いたち川月間（7～8月）には、様々なイベントが実施され、区民が水辺と触れ合う機会を提供していただいています。（いたち川月間で実施されたイベントは、いたちかわらばん63号をご覧ください。）

栄区内の水辺愛護会一覧

- ①長倉町小川アメニティ愛護会
- ②八軒谷戸水辺愛護会
- ③上郷上流水辺愛護会
- ④石原橋水辺愛護会
- ⑤尾月川辺のつつじ園愛護会
- ⑥尾月水辺愛護会
- ⑦いたち川（稲荷森の水辺）水辺愛護会
- ⑧いたち川扇橋水辺愛護会
- ⑨いたち川（天神橋～新橋）水辺愛護会
- ⑩いたち川（新橋～タツノ橋）水辺愛護会
- ⑪瀬上沢とホテルを守る会
- ⑫いたち川右支川水辺愛護会
- ⑬いたち川右支川 本郷石橋水辺愛護会
- ⑭上荒井沢水辺愛護会
- ⑮洗井沢水辺愛護会
- ⑯飯島せせらぎ愛護会



坊中の水辺から上流を見る。尾月橋の下を潜って石原の水辺へ続く、対岸の柵が見える斜面が川辺のつつじ園。

（谷 溪）

「坊中の水辺」名称の起源…かつてこの地域一帯が証菩提寺の寺領であったことに由来する。

かつて尾月橋でストップしていた散策道が昨年上流の石原橋まで延長されました。新しい散策道は尾月橋の下を潜って新しくできた石原の水辺を通り石原橋までの約250mです。坊中の水辺から石原橋間の川の両側は家屋がないので水辺には多くの野鳥が集まります。なかでも坊中の水辺の深みには魚が多く、野鳥の工サ場となっていてカワセミのホバリングの瞬間を撮るカメラマンが岸辺に集まり、散策道の一角は連日水辺のサロンとなっている状況です。

これが、最近はかなり良くなったとのこと。

これまで尾月橋でストップしていた散策道が昨年上流の石原橋まで延長されました。新しい散策道は尾月橋の下を潜って新しくできた石原の水辺を通り石原橋までの約250mです。坊中の水辺から石原橋間の川の両側は家屋がないので水辺には多くの野鳥が集まります。なかでも坊中の水辺の深みには魚が多く、野鳥の工サ場となっていてカワセミのホバリングの瞬間を撮るカメラマンが岸辺に集まり、散策道の一角は連日水辺のサロンとなっている状況です。

尾月水辺の愛護会 取材記

尾月橋下流の「坊中の水辺」で活動されている「尾月水辺の会」会長の早川さんにお会いしました。愛護会を結成して活動を開始したのが、平成18年なので8年を経過したとのこと。会員のほとんどが隣接する尾月住宅に住む方々です。現在の会員数20名、その中で女性の方が5名。毎月第3土曜日午前中が活動日です。活動は尾月橋から下流の葉月橋間の散策道と周辺の除草・清掃・樹木の管理と、水辺の葦の育成、流木、ゴミ拾いなどです。数年前には、散策道の犬の糞の放置に悩まされましたが、最近はかなり良くなったとのこと。

かつて雑草で覆われていた斜面も2千本ちかくのつつじ・サツキ・アジサイ等が茂る樹園に変貌しつつあります。住民の皆さんからも「見違えるようになった」と評価される迄になりました。但し、油断は禁物です。イタドリ・やぶからし等雑草の繁殖力は旺盛です。日照りによる枯死と土壌の崩落も心配です。会員の高齢化も急ピッチで進んでいます。多くの問題を抱えています。地域の皆さんの協力を得ながら着実に愛護活動を進めていきたいと思っています。（愛護会会長 堀田安二）

平成22年9月に結成された当愛護会は、いたち川左岸の河川敷斜面（石原橋～尾月橋間の約130m、面積約3000㎡）につつじ、サツキ、アジサイ等を植栽、その除草・清掃等の作業にあたってきました。現在会員は13名（男性8名・女性5名）で、年間を通して月に1～3回程度の活動を行っています。（苗木植栽・雑草繁茂の5・6月2～3回、1・2月作業休み、その他の月は1回）作業時間は、原則として第3土曜日の朝9時から1時半を目途にしています。繁忙期には、「上郷森の会」・「尾月水辺愛護会」・「尾月子供会」・「尾月自治会等のお手伝い」を頂いています。例年延150～190名程度の人達が愛護活動に参加していただいています。

尾月川辺のつつじ園愛護会について